

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日～4月27日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
1	B-07001353	女性	10歳未満	22 mg	耐性乳酸菌製剤(2) ロートエキス散 塩化リゾチーム 塩酸シプロヘプタジン	異常行動 筋力低下	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。同日昼食後に本剤内服し、程なく立って歩こうとするが、フラフラしてすぐに転ぶといった両下肢脱力、大声で叫ぶ症状が発現。熱は38～39℃。異常行動は覚醒時に発現の様子。同日夕方、これら2症状は消失し回復。その後、本剤中止。
2	B-07001357	女	30歳代	150mg	トラネキサム酸 カルボシステイン	幻聴	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。同日夜、首のかゆみ、幻聴(話し声、戸の開く音、スリッパの音)、殺されるようなこわい夢をずっとみていた。エチゾラム投与により回復。
3	B-07001360	男	10歳未満	不明		異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。服用1時間後、約30分泣いたり、父親に殴りかかった(叩いた)という異常行動発現。その後異常行動は治まり、以後本剤2回内服したが異常行動はなかった。異常行動軽快。その後服用中止。
4	B-07001362	女	60歳代	150mg		意識レベルの低下 異常感	回復 回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。同日昼1回目服用し、同日夕方、意識障害、ぼーっとするといった症状発現。その後、本剤は内服せず。
5	B-07001419	男性	20歳代	150 mg		うつ病 自殺念慮	回復 回復	風邪症状にて受診し、インフルエンザB型の診断を受け、リン酸オセルタミビル4日分処方。2回目服用開始後くらいより、気持ちが落ちて自殺したくなる感じなどのうつ状態発現。本剤服用終了4日後、気持ちも落ち着いた。本剤服用終了7日後、再び気持ちが落ち込んだ。うつ状態で自殺念慮もあるため、スルピリド処方。本剤服用終了9日後、頭部MRIは正常。本剤服用終了11日後、脳波は前頭部に徐波あり。
6	B-07001423	女性	50歳代	150 mg		頭痛	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル処方。体温:38.5℃。本剤4日間服用し、解熱し体調良好となる。 インフルエンザの転帰:軽快・回復。 本剤服用終了5日後、突然に左側頭～左後頭部にシビれる様な頭痛発現。以前にあった片頭痛とは異なる頭痛であった。鎮痛剤服用するも頭痛強く、入院。頭部CT所見なし。その後、処置にて軽快。
7	B-07001524	男性	60歳代	150 mg		認知症	回復	3日前、発熱あり。 インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用開始3日目、幻覚、認知症の悪化発現。幻覚の内容は「周りに女の人がいる集団見合いをしている」といったもの。その3日後、幻覚軽快。本剤服用後しばらくは認知症の程度が強くなった。さらに2日後、認知症の悪化も回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~4月27日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
8	B-07001663	男性	10歳代	120 mg	カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル5日分投与開始。服用1日目、異常な行動はなかったものの、「お父さんがお母さんを殺そうとしている」など、非現実的な事を話していた。せん妄発現。 翌日、せん妄回復。 服用5日目に服用終了。
9	B-07001665	女性	10歳未満	87 mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル処方。異常言動、幻覚発現。本剤服用終了。 6日後、異常言動、幻覚回復。
10	B-07001669	女性	10歳未満	60 mg		痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル5日分処方。同日朝、38.5℃。本剤1回目服用。同日昼、39.4℃。同日夜、2回目服用30分後、全身痙攣5分間。意識有り、やや軽い痙攣。服用1時間半後、39.5℃ 全身痙攣5分間、意識有り、やや軽い痙攣。アセトアミノフェン坐剤を使用。服用2時間半後、39.2℃ 痙攣5分間。服用3時間半後、38.4℃。痙攣5分間、意識有り。痙攣強。幻覚あり(ママの目が真っ赤でこわいと言う)。服用6時間半後、36.2℃。痙攣2分間、幻覚あり。本剤投与中止。 中止1日後、症状回復。
11	B-07001708	男性	不明	不明		パーキンソン病	未回復	大腸ポリープの手術を行った後、インフルエンザに罹り、リン酸オセルタミビル処方。服用翌日、パーキンソン病発現。現在も治療中。
12	B-07001731	女性	60歳代	75 mg	臭化水素酸デキストロメト ルファン ロラゼパム クロキサゾラム	意識消失	回復	インフルンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。食事中、腹痛、気分不快になり意識消失(5分間程)。尿失禁あり。その後回復。
13	B-07001737	男性	10歳代	150 mg	セフテラムピボキシル 臭化水素酸デキストロメ ルファン アセトアミノフェン	異常行動 異常行動	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、夜間に自分の頭をたたく等の異常行動が発現。服用2日目、再び本剤服用。夜間に同様の異常行動発現。服用3日目、異常行動回復。
14	B-07001738	男性	10歳未満	144 mg	セフジレンピボキシル カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニ ラミン トラネキサム酸	異常行動	回復	39.0℃の高熱があり、検査結果では+/-であったが、インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用後、すぐに高揚し、不可解な行動をするなどの異常行動を発現。 翌日、回復。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~4月27日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
15	B-07001739	男性	70歳代	150 mg	クロルプロマジン・プロメタジン配合剤(2) 酒石酸ゾルピデム ピコスルファートナトリウム 塩酸アミトリプチリン アルプラゾラム メフェナム酸 臭化プロパンテリン・クロロフィル配合剤(2)	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用3日目、意識障害発現。
16	B-07001747	女性	10歳未満	36 mg		痙攣	回復	40℃近い発熱あり。インフルエンザB型陽性であったため、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、本剤1回目服用。体温:39.6℃。意味不明なことを言い出すなどの意識障害、幻覚発現。服用2時間後、痙攣発現。救急車にて搬送。到着時は意識ははっきりしていた。体温:39.4℃。解熱剤投与し、帰宅。帰宅後も頭痛、腹痛、嘔吐あり。翌朝、痙攣、意識障害、幻覚回復。1回目服用から翌朝までの記憶はなかった。
17	B-07001805	男性	10歳未満	35mg	アセトアミノフェン ジアゼパム リン酸ジメモルファン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	未回復	午後より発熱、けいれんを2回程発症。その後、インフルエンザA型治療のためリン酸オセルタミビル処方。1回目服用後もけいれんを認める。38.8℃。服用2日目、入院。服用3日目、夜、発熱は続き、数秒~10数秒のけいれんが頻発。
18	B-07001807	女性	10歳未満	60 mg	ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン 非ピリン系感冒剤(2)	痙攣	回復	体温:38.5℃。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、インフルエンザの軽快・回復。深夜、すでに解熱。服用開始4日目、計6回目服用後、30分くらいの発作あり。ひきつけなのか悪夢をみたのか不明。その後、就寝中にうなり声を聞いた。その翌朝、ふだんと変わらず。
19	B-07001808	男性	10歳未満	136.2mg	ドンペリドン	異常行動	回復	37℃の発熱、咳、咽頭痛が朝よりあったため、感冒剤服用。同日夜、38.3℃に上昇。嘔吐もあったので、救急受診し、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用時、38.3℃。服用1~2時間後、寝たままでも最初手足をピクピクさせ、ワーと大声で泣き叫び、全身の筋肉を硬直させ、眼は大きく見開いて一点を凝視した。2~3分持続。反応中は意識不明。5分後、意識回復。その後も、ぐずったり、泣いたりして熟睡してはなかった。38℃台の高熱あり。服用開始2日目の朝、夕方、服用3日目の朝いずれも、38℃台~41℃の発熱あり。いずれも本剤服用1~2時間後に、毎回、同様の異常行動が発現。本剤中止。
20	B-07001809	男性	30歳代	不明	アトルバスタチンカルシウム水和物	意識消失	未記載	リン酸オセルタミビル服用。車の運転中に一瞬自分が何をしているのか分からないような状態に陥った。意識消失が発現。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~4月27日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
21	B-07001811	男性	10歳未満	不明		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用1時間後、意味不明な発言、突然笑い出すなどの症状などの意識障害発現。同日、服用終了。服用終了後3日目、意識障害回復。
22	B-07001812	女性	10歳未満	99 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシール 塩酸シプロヘプタジン 塩酸ツロブテロール	異常行動	回復	インフルエンザB型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始2日目、解熱。就寝後に手をばたばたさせ、イヤダイヤダとさわぐ。服用3日目、夜、前夜と同様のエピソードが2時間置きの頻度で発現。服用4日目、服用中止。
23	B-07001892	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	味覚異常	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、夕方、味覚障害発現。服用開始4日目、嗅覚障害発現。水様下痢もあり。
24	B-07001894	女性	10歳未満	105 mg	ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	痙攣	軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3時間半後、けいれん(軽微)発現。インフルエンザによる発熱あり。けいれん軽快。
25	B-07001906	不明	80歳代	150 mg		認知症	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。うなったり暴れたりということが見られ、その後、訳のわからないことをいうなど痴呆症のような状態となる。精神神経異常発現。本剤投与中止。インフルエンザ発症前(本剤服用前)は、痴呆症なし。投与中止翌日、精神神経異常回復。
26	B-07002053	女性	10歳未満	不明	アセトアミノフェン	痙攣 異常行動	回復 回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣、声を発するなどの異常行動が発現。
27	B-07002054	男性	10歳未満	40 mg		異常行動	回復	診察時から興奮気味。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方、服用後、おかしな発言を繰り返す(こわいこわいと言っている)。睡眠中、夜には一度熱が下がり、症状は落ち着く。服用開始2日目、朝、再び発熱。本剤服用しないが、気分高揚し、妹と遊んでいる最中にはさみで妹の指を傷つけた。服用開始3日目、異常行動回復、インフルエンザ軽快・回復。
28	B-07002073	女性	10歳代	150 mg	クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメ トルファン カルボシステイン 開始液(1)	大発作痙攣	不明	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用開始4日後、朝、本剤減量。外来受診時(38-39℃出現、咳も強い)胸部x-p撮影中にGTC(全身性强直間代けいれん発作)5秒。その後、1分後に意識もどした。胸部x-p上気管支影の増強はみられたが、明らかな肺炎臓はなかった。

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例(その3)(平成19年4月18日~4月27日に第一報報告のあったもの)

No.	識別番号	性別	年代	一日投与量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要
29	B-07002190	女性	10歳未満	180mg		嘔吐 傾眠	軽快 軽快	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル5日分処方するも、同日夕、5日分を1回ですべて服用。服用1時間後、嘔吐発現(数回)。嘔吐発現から1時間後、傾眠発現。救急外来受診。胃洗浄、輸液。入院。その4日後、嘔吐、傾眠軽快。
30	B-07002262	女性	60歳代	150 mg	アセトアミノフェン クラリスロマイシン 臭化水素酸デキストロメ ルファン セラペプターゼ 塩酸アンブロキシール カルボシステイン 酒石酸ゾルピデム	うつ病	軽快	インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。本剤を服用するとうつ状態となり、死にたいという気持ちが強くなり、手首を切ろうかと思いつめた。 3回目までの服用したが、あまりに症状がきついで、本剤服用中止。中止後、症状軽快するも、中止1ヵ月後、うつの症状が抜けきらず、夜も眠れないとのこと。
31	B-07002263	男性	10歳代	150 mg	アセトアミノフェン	統合失調症 様障害	不明	インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用6日目、朝の服用にて、服用終了。そのころから、言動に総合性が無くなった。意識は清明、見当識ありだが、会話に混乱あり。服用終了2日後、急性混乱状態発現。神経学的には明らかな脱落症状なし、MRI、ルンバールを施行。脳炎、髄膜炎を示唆する所見なし。統合失調症を疑う。
32	B-07002264	男性	10歳未満	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル処方。同日夕方より服用開始。 服用2日目、発熱持続。朝、夕服用。その夜、就寝していたところ急に足をバタバタさせ、その後「おしっこに行きたい」と話しトイレへ。排尿をすませた後走って戻り、何か早口で喋り(家人に内容は分からなかったとのこと)再度就寝。異常行動ではないかと救急受診。受診時意識清明、見当識良好、神経学的異常所見なかったが、家人の心配が強いため、入院の上、経過観察とした。本剤服用中止。入院後は何事もなく解熱。
33	B-07002309	男性	10歳未満	不明		異常行動 霧視	軽快 軽快	A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用。2日で解熱。約1ヵ月後、再度、A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。ふすまをかじる、目の焦点が合っていないなどの症状が発現。入院となる。症状軽快。 翌日、解熱、輸液投与。インフルエンザ症状軽快。通常どおり受け答え。
34	B-07002383	男性	20歳代	150 mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。痙攣発現。
35	B-07002390	男性	10歳代	150 mg	鎮咳配合剤(1)	異常行動 浮動性めまい 転倒 損傷	回復 回復 回復 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用1日目、転倒、頭部外傷、ふらつき発現。体温:38.4℃。 服用2日目、異常行動発現。頭部外傷、干針結合。 服用5日目、朝服用。その後は、本剤服用せず。